

進路があるので嫌な事があったり、ちよつかいされることもあるけど、我慢して叩くな口で言うを実践しています。これからも頑張りたいです。
中3 A・Y

僕は3月で退所です。社会に出てから暴力などして問題を起こしてしまうとテレビデビューを果たし一躍有名人になります。こんな形で有名人になりたくないです。なので、安全委員会の3つの約束をしっかりと心に刻んでいきたいです。
高3 E・K

きよた

イライラしたら部屋に行く、嫌な事があったら先生に言うようにしています。
小5 N・A

嫌な事があったらクールダウンをする。
中1 K・K

相手が嫌だと思う事を言わずに、もし嫌な事を言われても暴力をせず言葉で解決する。
中1 Y・K

自分は人と余り関わっていないので、トラブルとかがないから、他の人も自分の時間をつくれたり距離感を持って生活したらいいと思います。
高1 S・K

イライラしたら部屋に行く。言葉つかいを直すようにしています。
小1 T・Y

きよたのみんなで交流している時に、年上の人があおったり、逆に年下の人が年上の人をあおったりして喧嘩をすることがあります。さらに、自分より年下の人もしくは、同じ年の人をよく指図したり、嫌がらせをしたりもしています。これらに対し自分は何をやって良いか、何をしたらダメか、考えてほしいなと思います。
中3 O・M

白樺

暴力や暴言をしないように気をつける。ときどき私はイライラして当たってしまうことがあるので気をつけたいと思います。
中3 M・R

私は、あまり得意じゃない人とかに、嫌な態度を取ったり嫌な顔をしてしまうことが良くあるので気を付けていきたいです。他にもテレビを見てたりして周りの人がうるさくて嫌な時は、嫌な言い方をしないで普通に言えるようにしたいです。
中2 S・M

私は2歳の時に養護園に来ました。ここで生活し始めてから今年で16年目になります。安全委員会が出来たのは、私が年長の時です。安全委員会が無かったころ、苦しい思いを沢山していました。毎日年上の子から、理由もなく殴ったり、叩かれたりしました。先生に言おうとすると、ハサミを持ってきて「目をくりぬくぞ」と何度も脅されました。暴力や暴言が「悪い」ことだと分らない子も多く、大きい子達に怯える生活が当たり前でした。そんな時、安全委員会ができました。できてすぐ暴力、暴言が収まつたということはありませんでしたが5年、10年とやっていくうちに、気付いたら暴言、暴力のない生活が、今当たり前になっていました。養護園の生活で嫌な思い出より楽しい思い出が多いのは、安全委員会のおかげだと私は思っています。卒園しても、この先もずっと「暴言、暴力のない生活」を保っていこうと思います。
高3 S・J

私は皆に優しくしてみんなと笑顔で過ごせるようにしています。これからも安心安全に過ごせるように頑張っていきます。
小2 H・Y



新任の先生方の意見表明～安全委員会一年目に懸ける想い～

私は今年度から羊ヶ丘養護園に就職し安全委員会方式を知りました。安全委員会方式とは何だろうと思っていましたが、安全委員会課の活動や、実際に自分自身が安全委員会を目の当たりにし、職員が介入する事で双方の気持ち、意見の整理をして客観的に見つめ直す大切なことであると思いました。たとえどんな理由であっても暴力は許される事ではなくやられた側に大きな心の傷や体に傷をつけてしまう行為で、やつてしまつた側にしっかりと暴力の重大さを伝え解決に導く一つの指導方法であると思いました。11周年という今までの先輩職員の方々が築き上げてきた枠組みをしっかりと受け継ぎ児童監護にあたりたいと思います。

職員 一戸京華

新任職員として羊ヶ丘養護園で働いてから半年が経ちました。安全委員会の仕組みを知り、実際に安全委員会の場に立ち会ったことも何度かありました。何かトラブルが起きたとき、暴力、暴言をしなくとも解決できること、それを自分の力でやっていける力を教えてあげられるよう、子ども達に関わりケアをしていきたいです。
職員 松田

安全委員会について理解しきれていない部分もあると思いますが、常に子ども達が「安心・安全」と感じができるよう、生活のケアをして行きたいと思います。
職員 宮崎

ライラックでは暴力は起きないが子ども達の感情に波があり、気持ちを自分自身でコントロールすることが難しい子もいます。自室に入りクールダウンすること・一度外に出て気分転換する子など子どもなりの気分を落ちさせる方法をとっていく場合もありますが、周りの子や職員にイライラを当たっている場合も見られます。そのような姿が見られた場合、一度様子を見て落ち着くのを待ち、後に何気ない会話の中で「何かあった？」と振り返りを行ない、話を聞いています。また、中々イライラが収まらず周りの人に八つ当たりが続いている場合は、別室で話を聞くことを提案し、話を聞くと八つ当たりをしてはいけない事、周りの子がどのような気持ちになるかを話し、その子に合った気分転換の方法を提案して見たりして一緒に考えていきたいです。今後もみんなが暴力なく安全に生活出来る様支援していきたいです。
職員 森田

私が安全委員会方式で知っていることは少ないと感じます。新任研修や先輩職員からのSVを受けることで知識を得ることは出来ますが、実際に安全委員会方式での対応をしたことはほとんど無いからです。ですが子ども達が生活している中で、暴力をしないように意識をしたり我慢をしたりする場面を見ることは多くあります、また、私からクールダウンの方法を子どもに伝えることや、子どもから「練習付き合ってあげる」と安全委員会の3つの約束を私が覚えられるように、一緒に練習してくれた子など入職して9ヶ月で暴力をしないように一緒に考えることが多くあったと思います。これから子どもたちと一緒に教え合いながら、紡織路向き合って過ごしていきたいです。また、私自身子ども達が安全で安心な生活を送る事が出来るよう、良い生活の場を作りたいです。
職員 千田

今のかがやきユニットでは安全委員会が行われる機会はありませんが、日常的に子どもの間での手や足の出る喧嘩が絶えません。また、子どもから職員への暴力も度々見られています。来年は、ばばたきユニットへ移動することになるであろう子ども達もあり、今の現状ではばばたきユニットへ移動することを考えると正直とても不安です。ですので、今のうちから安全委員会の3つの約束と安全委員会を開くことがなくとも暴力は絶対にダメなことであるということをしっかりと伝えたいです。

職員 吉田

子ども達と楽しく過ごすプラスの時間をたくさん作りたいです。暴力が起きた際には複数の職員で対応することが大切であり、私自身もその一員として適切な対応をできるよう学んでいきたいと思っています。
職員 菅原

私自身かがやきの児童さんと関わっている上で安全委員会対応を行ったことがなく、安全委員会、安全委員会方式について理解できていない部分があるため、しっかり安全委員会方式について学んでいきたいです。かがやきさんはまだ安全委員会は行わないが、言葉で言わず叩く・つねる・噛む等の喧嘩が日常生活の中で多々あるため、児童さんでも分かりやすいよう、絵・絵本等を使いながら暴力はいけないことわかるよう丁寧から気にして関わって行きたいです。
職員 高崎

羊ヶ丘養護園に入社し、安全委員会対応という支援の方法を初めて知った時に、暴力の加害者・被害者の気持ちや動機、何が児童にとって失敗だったのかという事を、複数人の大人の前で話勧めることの大切さを実感しました。また、施設内での暴力の多さや繰り返し起こっている現状は、当事者だけではなく間接的に他の児童の不安を高めていることを受け止め、暴力ではない解決方法を伝えていきたいと思っています。支援者として、気持ちを素直に伝え続け、暴力を受けた者の思いの理解へ繋げる事が出来たらと感じます。
職員 藤木

後書き

今回外部委員の皆様と対面で行なう記念集会はコロナ感染症拡大の影響を受け、実に2年ぶりでした。その間に入所児童や職員は入れ替わりがあり、外部委員の先生たちも交代したことによって、お互いにどこか実感の湧かないままに安全委員会活動を継続していた感が否めなかったのですが、今回、外部の委員の皆様をお招きして記念集会を実施出来たことで、子どもたちも職員も、当園の安全委員会活動がより身近に感じられるきっかけになったのではないかと思います。今後も外部委員の先生たちと力を合わせながら、職員と子どもたちが一丸となり施設から暴力を無くし、「安心で安全な生活」を作りたいと思います。

安全委員会課